南部地域振興課学習情報紙　みなみ風　第１８号

２０２５年（令和７年）１月

発行　南部地域振興課

住所　福山市沼隈町大字草深１８８９番地６

電話　９８０－７７１３

FAX　９８７－２３８２

e-mailnanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

報告　人・まち・ふくしマルシェ２０２４、大盛況でした！

11月10日、沼隈支所・沼隈サンパルにて「人・まち・ふくしマルシェ2024」を開催しました！天気が心配でしたが、当日は気持ちのよい秋晴れで、約5000人の来場がありました。

マルシェ広場はもちろん、ステージや体験コーナーも大盛り上がりで、毎年恒例の薬剤師体験と弦楽器体験、和菓子体験は今年も大人気でした。ステージでは想青学園だけでなく、地域の方の

ダンスやウクレレ、神楽の発表もありました！また防災体験では段ボールベッドを組立ました。

展示ブースでは人まふラリーを開催！多くの方が展示を見ながらラリーに参加してくださいました。郷土の偉人・山本瀧之助の展示もありました。

実行委員会のみなさま、ボランティアのみなさま、そして当日来場していただいたみなさま

ありがとうございました！！

南部なるほど！キャンパス

「一人ひとりが大切にされる社会を考える」パネル展を行いました！

１２月４日から１０日までの人権週間にあわせて、お互いの違いを認め合える社会の実現と地域で支えあい安心して暮らせる地域を築いていくためにパネル展示を行いました。

済美校区人権問題講演会の開催報告

アシュリ・サウザーさんを講師に、「ヒロシマとパレスチナ・ガザ―平和と人権―」というテーマで開催した人権問題講演会について報告しました。講演会では、ガザの現状や平和の大切さを話されるとともに、「勉強はchance to shine（輝くチャンス）」と言ったガザの学生の紹介がありました。

また、ガザの子どもたちが描いた絵をもとに作成されたポストカードの展示も行いました。

「 人・まち・ふくしマルシェ２０２４」関連事業

ポスター原画入賞作品の展示

「人・まち・ふくしマルシェ２０２４」のテーマの１つは「人権」です。今回はイベントのポスターを学校や福祉施設から募集し、入選した作品を展示しました。

人権メッセージボードの紹介

イベントで書いてもらったメッセージと新たなメッセージを紹介しました。

人権社会教育活動事業

至誠校区人権問題講演会

ひとりぼっちをつくらない！～社会的孤立・排除のない地域づくりをめざして～

講師　川口　寿弘（としひろ）さん（鳥取市中央人権福祉センター所長）

日時　2月1日　土曜日　13時３０分から

場所　山南交流館（清神会館）

主催　熊野学区人権学習推進協議会、山南学区人権学習推進協議会、熊野交流館、山南交流館、瀬戸コミュニティセンター、南部地域振興課

問合せ　南部地域振興課（０８４-980-7713）

南部地域振興課管内の交流館・コミュニティセンター全館で電子予約申請・スマートロックがはじまりました。地域のまちづくりの拠点である交流館を様々な世代が、より便利に使えるようになることを目的としています。

電子申請予約サービス（オンライン申請）とはパソコン・スマートフォンなどのインターネットが繋がる端末から「ひろしま・やまぐち公共施設予約サービス」へアクセスすると、いつでもどこでも交流館の貸室状況の確認や使用許可申請ができるサービスです。

スマートロックとは

交流館で事前に鍵を受け取らなくても、４～６桁の番号でドアの施錠や解錠ができるシステムです。スマートロックには、タッチパネル式とキーボックス式の２種類があります。

利用には各交流館・コミュニティセンターの窓口で登録が必要です。

くわしくは利用したい交流館・コミュニティセンターにお問い合わせください。

持続可能な地域づくりって？島の未来を語ろう

２０２５年１月２６日　日曜日

１３時３０分から１５時３０分

第１部　講演「島から広がる持続可能な未来」

第２部　パネルディスカッション

「内海町の描く地域未来像を語る」

講師　鯨本 あつこ さん（ＮＰＯ法人離島経済新聞社）

パネリスト　河村 耕治さん（田島東部まちづくり推進委員会）、中尾 守岐さん（中国新聞田島販売所）、原田 真希子さん（福山まるごと体験推進協議会）

場所　うつみ市民交流センター　多目的ホール（福山市内海町88番地60）

参加無料

申込不要

問合せ：南部地域振興課（084-980-7713）

作品展「山本瀧之助に学ぶ書道展」を開催しました！

11月14日から20日まで、ぬまくま交流館で「山本瀧之助に学ぶ　書道作品展」が開催されました。

小学校・中学校・高等学校・絵手紙サークルのみなさんの応募作品５０６点が展示されました。

書道展では、半紙や絵手紙、うちわなどに習字で「一日一善」、「一荷合力（いっかこうろく）」、「ゆめ」「学び」など「青年の父」と呼ばれた瀧之助に関連する言葉が丁寧に書かれていました。

昨年の生誕150周年に引き続き、今年も作品づくりを通して「学び」や「助け合い」を大切にする瀧之助の思想に思いを馳せることができたのではないでしょうか。